たてやま 議会だより

No.97 | 2026.3.1 |
令和7年 12月定例会号

立山町HPはこちら

令和７年度一般会計補正予算…… 2
総務教育・産業厚生常任委員会の審議…… 3
議会改革特別委員会・主な条例等の一部改正など … 4
一般質問・質疑概要、賛否一覧…… 5
町総合防災訓練・ハッピーバースデー…… 7
一般質問・質疑…… 8～10
決算特別委員会の審議…… 11
３月定例会日程、行政視察受入状況…… 12

TOPICS

新たな議会スタート …… 6

撮 影 日／令和７年12月28日
撮影場所／立山町岩峅野地内
撮 影 者／柴田 逸夫 様

令和7年度一般会計補正予算額　3億4,606万円

（11月臨時会、12月定例会の合算）

一般会計総額　152億1,893万円

◆主なもの

11月臨時会

クマ対策 有害鳥獣等防止対策事業

378万円

●クマの捕獲報奨金　5万円／頭
●町鳥獣被害対策実施隊の活動費単価の引き上げ

グリーンパーク吉峰 オートキャンプ場 建築主体工事（ゼロ債務）請負変更契約の締結

3,969万円

土壌の安定処理、芝生整備工事の追加等

12月定例会

物価高騰対策

●新入学支援　**4,253万円**
●低所得世帯生活支援　**1,950万円**
●子育て世帯緊急支援　**7,020万円**
●たてポ10倍キャンペーン　**1,750万円**

立山線再構築 本調査業務（その1）

1,000万円

富山地方鉄道立山線の存続に向けた調査委託

公有財産処分 立山IC産業用地造成地

4億6,650万円

ヨネックス株式会社と売買契約の締結

サル生息状況調査

312万円

サーモカメラ搭載ドローンを使った生息数調査

委員会の審議

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

総務教育常任委員会

旧新瀬戸小学校の利活用期間 令和8年1月から約5年間

教育委員会

Q 上東地域活性化センター施設に間仕切り壁を設置することになった経緯は。

A 当該施設にある勤労青少年ホームが令和8年3月末に廃止されるため、4月以降、閉館時間を今より繰り上げる。

地元の会合等で使用する場合は、閉館時間外での使用を特別に認めることとしている。

その際に、施設管理者が不在となるため、一般利用できる部分と公文書を保管する部分を区切るための工事を行う。

企画政策課

Q 旧新瀬戸小学校の利活用事業者の施設利用期間について。

A 建物と土地の貸付契約を令和13年3月31日までの約5年間として締結した。

税務課

Q 個人町民税の現年課税分について、1億円の歳入予算計上の理由は。

A 個人町民税の主なものは、給与所得であるがその賃金の上昇が大きな要因である。

また、農業所得者においてコメの概算金が上がったことで、農業所得が上昇したことも要因のひとつである。

消防本部

Q 立山町火災予防条例の一部改正の詳細は。

A 気象条件により山火事予防のため林野火災注意報等が出せるようになる。

注意報等発令時には、火の利用を控えていただくよう巡回し、注意喚起を行っていく。

産業厚生常任委員会

水道施設AI劣化診断の詳細は 最新技術を活用

健康福祉課

Q 自立支援給付事業でのオーダーメイド補装具の詳細は。

A 障害用の車椅子を身体の状況に合わせ、酸素ボンベや体型に応じたクッションや高さの調整を行うためのもの。

建設課

Q 木造住宅耐震改修支援事業補助金の詳細は。

A 昭和56年以前に建築された住宅が対象であり、耐震診断の結果、改修設計費用に上限20万円と工事費用に上限120万円の補助金が受けられる。

農林課・農業委員会

Q サーモカメラ搭載のドローンで行うサルの生息調査の詳細は。

A 四谷尾、谷口地区を中心に1月、2月に実施予定。

生息数や行動範囲がある程度把握できる。

住民課

Q 児童手当給付が多額の減額補正となっているがその理由は。

A 令和6年10月からの制度改正により、新たな支給対象者数の把握が困難であったため、当初予算では住民基本台帳をもとに最大数を計上したため、多額の余剰が発生した。

水道課

Q AI劣化診断・システム構築業務の詳細は。

A 気温や地形、交通量などの環境データと、これまでの漏水データを掛け合わせAIで漏水する確率の高い場所や何年後に漏水するかを予測できる最新技術を活用するもの。

効率的な予防・保全を行っていく。

議会改革特別委員会

分割質問の導入へ

　これまで数年にわたり、議会改革特別委員会や議員懇談会において幾度となく議論されてきたが、令和８年６月定例会から、これまでの一括質問に加えて分割質問を導入し選択できることとした。

　分割質問方式は一括質問方式よりも時間がかかる場合があり、時間配分が難しいなどの意見は出たが、一つの項目に関する質問・答弁のやり取りが完結してから、次の項目に移るため分かりやすく、より深い議論ができるなどの理由から採用される。

　これまで以上に、町民に開かれた分かりやすい議会運営を目指していきたい。

主な条例等の一部改正など

すべて原案可決

■立山町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

法改正により創設された乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について、内閣府令に定める基準に従い設備及び運営に関する基準を定めるもの

こども誰でも通園制度
- 就労要件を問わない
- 月一定時間までの利用可能枠
- 時間単位の柔軟な利用

※０歳６か月から満３歳未満

■立山町議会議員及び立山町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

法改正により選挙運動用のビラ作成費及びポスター作成費の公費負担限度額が引き上げられたため、関係規定を改正するもの

■立山町職員の給与に関する条例等の一部改正について

国の人事院勧告及び県の人事委員会勧告に準じて、職員等の給料表や期末勤勉手当の支給月数の改定のため関係規定を改正するもの

■立山町火災予防条例の一部改正について

まきストーブやテント式サウナなど、屋外サウナの設置基準を定める。また、気象条件により山火事予防のため林野火災注意報等を出せるように関係規定を改正するもの

■立山町議会委員会条例の一部を改正する条例について

町議会の議員定数が２名減になるため、各委員会の定数見直しによる変更について、関係規定を改正するもの

■公有財産（立山IC産業用地造成地）の処分について

沢端・野町地内に町が造成した事業用地売却に関してヨネックス株式会社との売買契約締結にあたり、法令に基づき議会の議決を求めるもの

詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも見ることができます。http://www.town.tateyama.toyama.dbsr.jp/index.php/

クマ出没

今後の対応は

広域的な要望を伝える

平井久秋　議員

議員　今年のクマ出没は過去にないくらいだ。数を伺うとともに、今後もさらに増えると思われるクマに対し、どのような対応をしていくのか。

町長　出没は令和5年度の目撃50件、痕跡が30件だったが今年はそれぞれ117件、58件となり、人身被害が2件発生した。

今後のクマ対応については、町が単独で行っているクマ対策のみでは、町民の安心・安全を十分に確保することが難しいと感じる。

そのため「ワンチームとやま」連携推進本部会議などを通じ、県に対し11月15日から2月15日とされている狩猟期間の変更や河川・河岸段丘及び、里山の雑木伐採など、より広域的な対策を要望していく。

認知症高齢者

徘徊する方への対応は

取り組んでいる事業を周知する

議員　徘徊による不幸な結末を迎えないように、今後どのような対応が必要と考えるか。

健康福祉課長　町では、令和2年度から「GPS貸し出し事業」を実施しているが、徘徊する高齢者自身がこの機器を持たずに外出する現状から、令和5年度からは「見守りシール事業」も併せて実施している。

この事業は、事前に登録された情報が入ったQRコード付きシールを、本人が日頃使用する持ち物に貼ってもらい、行方不明になった場合、保護した方がQRコードを読み込むと、瞬時に家族に発見通知メールが届くものである。

実際、保護した警察が読み取り、家族に連絡が届いた事例がある。

今後はこの事業を周知し、認知度の向上に取り組むとともに、関係機関の緊急連絡体制の強化に努める。

初議会（2月臨時議会）により新たな議会がスタート！

議長　平井　久秋　　副議長　堀田　努

新議長あいさつ

町民の皆様には、日ごろから町議会に対し格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、２月 10 日臨時議会におきまして、議員の皆様方のご推挙により、町議会議長を拝命いたしました。その責任の大きさに身が引き締まる思いであります。

近年の社会情勢は、目まぐるしいスピードで変化しています。また町を取り巻く課題も多種多様になり、迅速な判断や政策が求められている状況です。

議員も切磋琢磨し、また当局とも連携しながら町民の皆様の期待に応えられるよう努力してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

総務教育常任委員会（定数６人）

◎松倉　勝実

○村井　一仁

宇佐美　淳

髪口　清隆

平井　久秋

佐藤　康弘

産業厚生常任委員会（定数６人）

◎澤井　峰子

○経明　純

松原　幹昌

堀田　努

後藤　智文

坂井　立朗

議会運営委員会（定数５人）

◎佐藤　康弘　○髪口　清隆
堀田　努　松倉　勝実　澤井　峰子

監査委員

髪口　清隆

■立山自然保護・地域交通特別委員会（定数６人）

◎後藤　智文　○澤井　峰子
髪口　清隆　平井　久秋　佐藤　康弘
坂井　立朗

■議会広報特別委員会（定数６人）

◎堀田　努　○松原　幹昌
村井　一仁　経明　純　宇佐美　淳
松倉　勝実

■議会改革特別委員会（定数７人）

◎髪口　清隆　○松倉　勝実
堀田　努　澤井　峰子　佐藤　康弘
後藤　智文　坂井　立朗

■富山地区広域圏事務組合議会議員（定数２人）

堀田　努　平井　久秋

■中新川広域行政事務組合議会議員（定数４人）

髪口　清隆　澤井　峰子　佐藤　康弘
坂井　立朗

■滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員（定数２人）

松倉　勝実　後藤　智文

■町都市計画審議会委員（定数２人）

堀田　努　髪口　清隆

■民生委員推薦会委員（定数２人）

経明　純　澤井　峰子

※　◎は委員長、○は副委員長を表します。

令和７年度　立山町総合 防災訓練

■日　程：令和７年 10 月 25 日（土）　９：00 ～ 12：00
■場　所：立山町防災児童館複合施設「アカリエ」・役場駐車場

災害想定：10 月 25 日（土）午前 8 時 30 分立山町において震度 6 強（マグニチュード 7.4）の地震が発生。自宅が危険な状態となったため、町の指定避難場所である立山町防災児童館複合施設「アカリエ」に避難してきた。

訓練の目的：様々な訓練や体験を通して、避難場所での生活を考える。

◉避難者受付訓練　今回、初めて試験的にQRコードを使った受付を実施した。スマートフォンを持っている人、持っていない人に分かれて受付となったため、混乱が生じた。今後、スムーズな受付をするためには、住民への周知が重要となる。

◉避難場所開設訓練　避難用テント、段ボールベッドの設置、各種スペース作りの訓練を行う。特にテントは、複数回参加していても、なかなかスムーズな組み立てができない。今後も町内各地での訓練に参加し、経験を積むことが必要である。

◉防　災　講　演　富山地方気象台防災官　斎藤直子氏

◉各種ブース体験　食料供給訓練としてカレーの炊き出し、マンホールトイレを設置し、避難場所におけるトイレ確保等を訓練、消火器を使用し消火活動の訓練を行った。

今回の訓練は各方面、地区の声掛けがあり、多数の住民が参加された。現状に即した訓練は、参加回数が多すぎるということはないので、各地区での訓練に積極的に参加することが望ましい。地区の横のつながりを強固なものとし、地区のどこに誰がいるか、高齢者がどこにいるか、手を貸すべき人がどこにいるかを把握し、災害時にこの訓練の成果が発揮できればと思う。

ハッピーバースデー
2/1～4/30生まれ

右：篠川紬希（しのかわ つむぎ）さん　２０２１年２月９日生まれ　５才

左：篠川快晟（しのかわ かいせい）さん　２０２３年４月２５日生まれ　３才

5/1～7/31 生まれ募集中！

応募はこちらから

家庭ごみ有料化

ごみ分別アプリ導入を

立山町公式LINEで

髪口清隆　議員

議員　町では、立山方式によるごみ収集で、町民一人ひとりのごみ削減への意識は高い。

一方で富山市は、家庭ごみ処理手数料の有料化を令和9年10月に開始を目指しているなかで町への影響や対応は。

「資源・ごみ分別アプリ」を活用して、ごみ減量化の成果を上げている自治体がある。

スマートフォンを使って手軽にできる、アプリ導入の検討を。

町長　焼却施設への負担金が増額することが考えられる。

町では、令和8年4月から開始予定のプラスチック製品の一括回収、剪定枝の持ち込み、生ごみ処理機の普及等で、ごみの減量化に取り組んでいく。

「ごみ・資源物収集カレンダー」「家庭ごみと資源物の分け方・出し方」を全戸配布しており、町HPでも確認できる。

立山町公式LINE上で、種別と捨て方を答えてくれる機能の追加に向け、現在作業を進めている。

災害復旧

衛星データの活用を

検討している

議員　豪雨災害復旧・復興対策本部が継続し設置されているが、しっかりと機能していたのか。

また、国土交通省は、人工衛星による観測データの活用を検討するとしている。

町内で導入した場合の効果は。

土木統括監　発災時直ちに複数班を編成し、迅速に被災状況を把握し、応急対応を行った。

今後もチームの機動力を活かして対応にあたりたい。

町としては、人工衛星の観測画像を入手し、経年変化の把握に活用できないか検討している。

将来的には、発災前後の衛星画像を素早く入手することで、被災区域の全体像把握が迅速にできると考えている。

町中心部再開発

移住交流拠点施設の工期は

令和9年3月完成見込み

堀田　努　議員

議員　町中心部五百石地区住民のみならず、立山町民全体の悲願であり、経済効果追及はもちろん、町の象徴となりうる。

現在構想中の移住交流拠点施設の内容・工期は。

町長　町内外の方々の様々な活動や交流が生まれるよう、空き家の情報発信・地場産品の展示、販売スペース・シェアキッチン・多目的スペースの配置を予定。

土地の確保・整備に要する工期は、令和7年度中に用地を取得、令和8年度から本格的な工事に着手、令和9年度3月頃に完成の見込み。

パークアンドライド

五百石駅近辺に設置を

都市再生整備計画の中で検討

議員　パークアンドライドの整備をすることにより、地鉄電車の利用を中高生だけに依存している現状から、もっと多くの社会人による五百石駅の活発な利用が見込める。

地鉄の持続可能性を高める目的に、運賃収入による増収を目指すために、パークアンドライドの整備を望むが。

町長　立山線の利用者増は、その存続のための必須条件である。富山県等の関係団体と協力し、観光客の立山線利用を増やすことと共に増収を目指し、結果として住民にとっての生活路線を守りたい。

都市再生整備計画の中で、五百石駅周辺のパークアンドライドの整備について検討する。

松倉勝実　議員

放課後児童クラブ

課題は

支援員の確保に努める

議員　放課後児童クラブの現状と課題は。

教育長　町立放課後児童クラブは、6クラブあり、すべての運営を一般社団法人立山子育て支援センターに委託している。

令和7年12月1日現在、登録児童数155名、支援員21名、補助員9名である。クラブの活動内容によっては、国の基準の支援員に満たない場合もあることから、継続的確保に努めている。

当該クラブは、利用時間延長は認めていない。まれに父兄の迎え遅れがあるが、支援員の過度な負担には至っていない。

防犯体制については、火災、救急などの緊急対応マニュアルに加え、不審者対応マニュアルを作成し、定期的に講師等を招き、各クラブで防犯研修会を実施している。

教育委員会としては、児童が安全で安心して過ごせる環境を整えるため、支援員等の資質向上や人材確保、児童の発達段階に応じた遊びや生活が可能となるよう、引き続き支援センターと緊密に連携し支援していく。

大規模火災

消火避難対応は

避難の呼びかけと近隣消防本部に協力要請

議員　昨今の住宅火災は乾燥、大風で、大規模火災となっている。当局の消火対応と避難体制は。

消防長　逃げ遅れが無いよう、防災無線、町公式LINEで周知と避難を呼びかける。

消火対応は、町の全消防車両を出動させる。同時に近隣消防本部へ協力を求める。水利の確保も重要なので、普段から消火栓や防火水槽の維持管理に努める。

本年3月に、まちなかファーム跡地周辺で、住宅密集地火災想定訓練を実施した。効果的な消火体制や水利の確保、問題点等がないか話し合っていきたい。

澤井峰子　議員

地鉄立山線

今後の利用促進と財源確保は

関係者と協力、スピード感をもって取り組む

議員　抱える課題は山積しているが、今後の利用促進と財源確保への取り組みは。

企画政策課長　県も同様の認識で、この10月に観光推進局観光振興室に立山線担当の職員を配置し、交通部門（県市町）と観光部門、富山地鉄道、立山黒部貫光による立山線利用促進プロジェクトチーム等を開催。

増客増収へのアイディアをはじめ、お土産購入で地鉄の応援となる商品開発や観光路線のプロモーションなどが話し合われている。

通年利用促進策など、関係者で協力しスピード感をもって取り組んでいく。

クマ対策

ドローンを活用した調査を

活用が有効か、慎重に見極める

議員　冬眠しないクマ、春先のクマ対策としてサルの実態調査と同様、ドローンを活用したクマ調査はできないか。

農林課長　冬眠しないクマには引き続き緊張感をもって対応していく。

また、冬眠あけのクマ対応として、狩猟期間延長を県に要望する方向を検討している。

その上で春先の対応にはパトロール活動、SNS、防災無線を通して情報提供、注意喚起を行っていく。

今年度、東谷地区でドローンを活用したサル生息状況調査を実施するが、それらを通じて得られた知見を基に、活用が有効かを慎重に見極めていきたい。

米施策

政府に安定化の要求提言を

安定供給体制の構築を要望する

広島秀一　議員

議員　令和の米騒動から、米価の安定化は農業経営に直結する。国に実効性のある対策を働きかけるべきではないか。

　またお米券も消費拡大に有効だ。現金給付と併せた対策を。

町長　急激な米価の変動は消費者・生産者リスクとなることから、米の安定供給は大切だ。米の需要開拓・消費拡大にも取り組むと共に、より実態に即した需要の見通しに基づき、必要量を安定的に供給できる体制が構築されるよう要望していく。

　またお米券については町では選択肢には入れない。

オートキャンプ場

近隣より安価に

利用料は三春町を参考に

議員　来年3月にオープンするオートキャンプ場の使用料は近隣施設より安価で供給できないか。

　四季に合ったイベントの開催、春の桜花見、夏の散策ラリー、秋のレクリエーション、冬の温泉等、憩いの場を望むが。

　また、隣接のパークゴルフ場に更衣室やトイレの設置など整備しては。

商工観光課長　新オートキャンプ場は各区画にキッチンやトイレ・洗面などを備え初心者でも気軽に楽しめる仕様となっている。

　施設管理者によると、今年春にオープンした福島県三春町の利用料を参考にされると思うが、町長の承認を得て定めると条例で規定している。

　パークゴルフ場に更衣室やトイレ整備は考えていない。

農業

希望ある有機農業の推進を

有機農業者を支援し、今後に期待

後藤智文　議員

後藤　若い就農者は有機農業を模索している。町として有機農業を推し進め、農業に従事する若者に希望を与えるべきではないか。ひいては農業後継者不足解消につながるのではないか。

町長　町では、就農相談を随時受け付け、県農林振興センターや関係機関と連携して、就農計画や支援制度の利用などサポートしている。

　支援施策として、国の環境保全型農業直接支払交付金を活用して、有機農業に取り組む農業者を支援しており、令和7年度は3経営体に補助金を交付している。生産量が確保できれば、学校給食等への農産物の供給にも期待している。

リサイクル

各地区に古紙回収ステーションの設置を

学校敷地内にステーション設置

後藤　小中学校で行われている古紙回収は、少子化に加え、クマ騒動のもと、回収ができない事態となっている。全地区に古紙回収ステーションを設け、町民の利便性の向上、PTAの負担軽減を図るべきではないか。PTAの活動資金になっているので、報奨金は話し合いで決めたらよいと思われる。

住民課長　すべての小中学校PTAからは、古紙回収は続けたいという声があった。古紙回収ステーションは、課題が解決したところから学校敷地内での設置を進める。報奨金は、設置した学校のPTAにお支払いする。

事業実績・効果をチェック

決算特別委員会報告　令和７年度決算を認定

決算特別委員会は令和7年10月6日、9日、14日の3日間実施した。

◆総務課

マイナンバーカードを利用した投票受付システム等について、更に周知を強化し利用促進を務められたい。

役場庁舎整備は、他の公共施設整備・更新・公債費償還スケジュールを勘案し、時機を逸することなく進められたい。

◆消防本部

町民体育館跡地の管理について、ドクターヘリのランデブーポイントのため整地に努められたい。

◆建設課

除雪人材の確保策を継続して行うこと、町営住宅の空き室を解消すること、老朽化した住宅の整理・更新を計画的に実施されたい。

◆健康福祉課

病児・病後児保育、体調不良児保育について、制度周知を強化されたい。

包括的支援事業・任意事業において、把握した介護予防事業対象者への働きかけを工夫し町民の介護予防に努められたい。

◆住民課

町営バスの運行形態を再構築し、利用者の利便性向上に努められたい。

古紙等リサイクル品の回収方法を工夫し、可燃ごみの減少に取り組まれたい。

◆教育委員会

全国大会派遣事業に補助金の増額や、対象の拡大を検討されたい。

◆企画政策課

今後の移住定住事業の財源確保に努め、一層の事業強化に努められたい。

立山ブランド海外戦略拠点施設のカビ根本解決を計られたい。

◆商工観光課

五百石駅発着ツアーや空き店舗活用開業支援事業を強化し、五百石駅周辺の活性化に取り組まれたい。

◆税務課

滞納繰越分の町民税の徴収に取り組まれたい。

◆農林課・農業委員会

有害鳥獣対策、林道災害復旧及び、農業担い手確保等、喫緊の課題解決に努められたい。

◆水道事業会計

老朽管更新事業を現在の水道料金を維持しつつ施設最適化計画を推進されたい。

統括

今後も、少子高齢化、人口減少に対応しながらの財源確保と、第10次立山町総合計画、第2次総合戦略に掲げられた重要政策に取り組まれたい。

持続可能な行政運営と中・長期的な財政の健全化に努められたい。

決算特別委員会

委員長　坂井　立朗
副委員長　松倉　勝実
委員　後藤　智文
委員　佐藤　康弘
委員　澤井　峰子
委員　堀田　努

たてやま 議会だより No.97 2026.3.1

3月立山町議会定例会日程

期日	時間	会議内容
2日(月)	10:00～	●本会議 (提案理由の説明) ●全員協議会
3日(火)	9:00～	●全員協議会
11日(水)	10:00～	●本会議 (代表・一般質問、質疑)
13日(金)	10:00～	●本会議 (一般質問等、 補正予算の先議 議案等の委員会付託)
16日(月)	9:00～	●総務教育常任委員会
18日(水)	9:00～	●産業厚生常任委員会
24日(火)	13:30～	●本会議 (委員長報告、討論、採決)

★本会議の傍聴…どなたでも傍聴できます。

★委員会の傍聴については、議会事務局にお問い合わせください。

あなたの\とっておき/の一枚

次回の表紙テーマは

他人に自慢したい風景・人(家族、友人など)・行事など幅広くご応募ください。

応募は上記からも可能です。

応募期間 令和8年3月1日(日)から令和8年3月31日(火)まで

応募資格 立山町に在住、在学、在勤の方

募集写真
- 1年以内に立山町内で撮影した風景、イベント、人等の写真(1人2枚まで)
- デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上5MB以下)

応募方法 必要事項「住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日、写真タイトル」を明記の上、USBメモリ等の持参又は郵送、電子メール等によりご応募ください。

掲載方法
- 町ＨＰ及び議会だより本紙(2026年5月1日発行)にて掲載します。
- 掲載する情報は、「写真、氏名、撮影場所、撮影日」です。

応募上の注意
- 応募者ご自身が撮影した未加工のカラー写真で、未発表のものに限ります。
- 掲応募写真に関する著作権、肖像権等に関する責任は全て応募者に帰属し、無償で立山町議会が使用することを許諾することとなります。
- 紙面の都合上、トリミング等の加工を施す場合があります。

応募先 〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440番地
立山町議会事務局内 議会広報特別委員会
E-mail:gikai@town.tateyama.lg.jp

令和７年度 行政視察受入状況

日程	視察受入先	人数	テーマ
7月1日(火)	魚津市議会自民党議員会	7人	アカリエについて
7月9日(水)	鳥取県中部町村議会議長会	5人	アカリエについて
7月29日(火)	三重県鈴鹿市文教環境委員会	8人	途切れのない教育支援体制について(わんパック、貸出予約ロッカー、健診と学校との連携)
7月29日(火)	山梨県町村議会議長会	29人	議会改革について（立山自然・議会改革特別委員会設置、主権者教育、議会DX、男女共同参画条例)、立山町の観光施策について
9月3日(水)	山口県議会農林水産委員会	12人	釜ヶ渕みらい協議会（農村ＲＭＯ）について
10月22日(水)	長野県辰野町福祉教育常任委員会	8人	廃校利活用、みらいぶアカリエについて
10月28日(火)	新潟県村上市議会総務文教常任委員会	8人	廃校利活用（谷口集学校）について
11月14日(金)	鳥取県西部町村議会議長会	8人	複合施設整備（みらいぶ、アカリエ）について

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は

立山町議会内　議会だより係 まで

TEL 076-462-9984　FAX 076-464-1118

E-mail gikai@town.tateyama.lg.jp

図書館及び町HPの［議会会議録］もご覧ください

議会広報特別委員会

委員長　堀田　努
副委員長　松原　幹昌
委員　村井　一仁
〃　経明　純
〃　宇佐美　淳
〃　松倉　勝実

■発行／立山町議会
■責任者／議長　平井　久秋
■編集／議会広報特別委員会
立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440番地
HP http://www.town.tateyama.toyama.jp/